

第1学年 算数科 「いくつといくつになるのかな」

授業者 好井 佑馬・支援員 東 はるか

<p>前時までの学び</p>	<p>前時は、2色のボールを集めるゲームを楽しみながら、前単元で学習した3～5の数の構成を確かめ、図に表しました。その際、一つもボールがない状態から0の意味を捉え、同様に図に表しました。さらに、構成の図から、3～5の構成の仕方は数が1増えるごとに1種類ずつ増えていることを見いだしていました。</p>
<p>〈課題設定以前〉 1 「猛獣狩りへ行こうよ」を行い、課題を設定する。</p>	<p>「猛獣狩りへ行こうよ」を行い、グループ内で赤と白に分かれた結果を前単元で学習した3～5の数の構成を示した<u>幾つと幾つボード</u>を見ながら確かめ、既習事項を振り返りました。そして、6人グループで赤と白に分かれた結果を5の構成と比較しやすくし、「これで全部かな」と問うことで、子供たちはまだ分け方があるはずだと類推し、本時の課題を設定しました。</p> <div data-bbox="1150 544 1422 752" style="float: right;"> </div> <div data-bbox="948 770 1417 853" style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>6の分け方は、5より1種類多くなって、7種類になるんじゃないかな。</p> </div>
<p>学習課題：6の分け方は、何種類あるのかな</p>	
<p>〈課題解決中〉 2 6の分解を数図ブロックや図で表し、6の構成について話し合う。 3 数当てゲームをする。</p>	<p>ブロックを操作したり、<u>幾つと幾つ図</u>をかいたりして、6の分け方を考えました。<u>幾つと幾つ図</u>を友達と見せ合いながら、対話することで、図の共通点と差異点に気付いて、漏れや重なりがないよう、全部で何種類の分け方ができるかを考えていきました。</p> <div data-bbox="644 1106 874 1160" style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px;"> <p>赤が2と白が4だ。</p> </div> <div data-bbox="533 1189 815 1263" style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px;"> <p>まだ考えてなかったな。それも6だね。</p> </div> <div data-bbox="1155 1160 1406 1234" style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px;"> <p>私も同じだよ。赤が5と白が1はある？</p> </div> <div data-bbox="858 1099 1114 1272" style="float: right;"> </div> <p>そして、<u>幾つと幾つ図</u>を順序よく並べることで、赤と白の境が階段のように見えることや種類の数が1ずつ大きくなっていることに気づき、既習の数の構成と同じであることを見いだしました。その後、6人を二つに分け、一方の数が分かるとき、もう一方の数を考えるゲームを行い、合成・分解を繰り返しました。</p>
<p>〈課題解決後〉 4 本時の学習を振り返る。</p>	<p>「分かったことやできたことはあったか」「友達の話をよく聞けたか」の二つの観点で、<u>成長シート</u>に丸をかいて振り返り、分け方が7種類であったことや図を並べると階段のようになるなどの発見したことを確かめました。そして、次の時間に考えたいことを考え、次時への見通しをもちました。</p> <div data-bbox="549 1675 1198 1756" style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin: 10px;"> <p>友達の話聞いて、数が1ずつ大きくなっていることが分かったよ。次は、7の分け方を考えてみたいな。</p> </div> <div data-bbox="1203 1570 1422 1727" style="float: right;"> </div>
<p>考察</p>	<p>遊びの要素を取り入れて、楽しく数の構成を学習できたが、対話によって、考えを深めることが難しい様相があった。対話のモデルを示すなどして、対話の技能を高めたり、活動を工夫し、対話したいという思いをもたせたりする手立てを学年の段階を考慮して行う必要があった。今後、対話によって自分の学びが深まることや友達に分かってもらえるうれしさ等を感じられるようにしていきたい。</p>